



## サガン選手が 経験談を披露

東明館中・高

サッカーJ1サガン鳥栖の選手たちが5日、基山町宮浦の東明館中・高を訪問し、生徒たちにサッカーを始めたきっかけや挫折から

立ち直った経験などを語った写真。選手を身近に感じてもらうと、チームの運営会社「サガン・ドリームス」が企画した。

参加したのはフェルナンド・トーレス選手や今季主将の福田晃斗選手など計8人で、4クラスに分かれて教壇に立った。トーレス選手は自らのサッカー人生を「幼少期はサッカーが嫌いな時期もあったが、諦めず練習を続けたからプロになった」と振り返り「好きなことは続けてみて」と生徒たちを激励。来日直後に駅で迷った際、日本人が親切に道案内をしてくれたエピソードなども披露し、生徒たちの笑いを誘った。

同高サッカー部の降旗崇一郎さん(16)は「失敗しても練習を続ければトーレス選手のようになれると感じ、励みになった」と目を輝かせた。  
(星野楽)

西日本新聞 2019年6月6日